



早期高糖で夏植え向き

# 農林13号 Ni13 (旧系統名RK89-1010)

【栽培適地】沖縄県先島地域

農林13号(Ni13)は、2001年(平成13年)に命名登録、同年、沖縄県先島地域向けの奨励品種に採用されました。早期高糖で夏植えで収量の多い品種です。



左:剥葉前の茎  
右:剥葉し、日光にさらされた茎



芽子



立毛状態

来歴組合せ ♀F175 × ♂RF79-247

重要特性

Ni13は、沖縄県農業試験場さとうきび育種研究室が育成した品種です。1987年(昭和62年)に沖縄県において台湾育成品種F175を母本に、沖縄農試育成系統RF79-247を父本に用いて人工交配した種子から、実生を養成し、以後、特に早期高糖性、多収性に注目して選抜を重ねて育成しました。

- ・収量はNCo310と比較して春植え、夏植えで多い。
- ・早期高糖で甘蔗糖度が高いため、可製糖量は大幅に増収。NCo310、F177を大きく上回る。

### ■宮古支場における夏植え1月収穫の特性(平成5~9年平均)

	原料茎数(本/a)	一茎重(g)	原料茎重(kg/a)	ブリックス(%)	繊維分(%)	甘蔗糖度(%)	可製糖量(kg/a)
Ni13	635 [84]	1430 [165]	883 [135]	21.3 [109]	11.6 [103]	16.2 [110]	134 [154]
NCo310	759	869	652	19.6	11.3	14.7	87
F177	584	1536	891	19.5	11.2	15.4	121

※[ ]内はNCo310を100とした場合の比率。

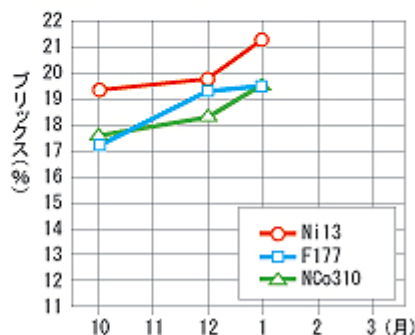
### ■病害虫抵抗性

	黒穂病	葉焼病	さび病	白糸病	メテウリ抵抗性
Ni13	極弱	やや強	強	—	中
NCo310	弱	中	弱	強	中
F177	極弱	強	やや強	強	弱

### ■その他、主要な生態的特性

	発芽性	分けつ性	萌芽性	出穂性	風折抵抗性	脱葉性
Ni13	やや弱	やや弱	不良	少	中	易
NCo310	中	中	良	多	強	難
F177	良	やや弱	やや不良	少	弱	易

### ■Ni13のブリックスの上昇(宮古における夏植え)



※Ni13のブリックスはNCo310、F177よりも早期から上昇。

### 栽培上の注意

- 株出しは萌芽が悪く、収量も少ないので株出し栽培は控えましょう。
- 黒穂病抵抗性は「極弱」であるため黒穂病多発地域での栽培はさけましょう。



### Ni13の形態的特性

草型は立葉で葉幅はNCo310と比較して広い。茎はNCo310よりも太い。

#### ■葉身・葉鞘関連形質

	草型	葉身長	葉幅	葉色	葉鞘長	葉耳	毛茸	ろう物質	花青素(葉鞘)
Ni13	立葉	中	やや広	中	長	上昇下降	無	やや多	無
NCo310	中葉	中	中	中	中	上昇下降	無	中	無
F177	やや立	中	広	濃	長	上昇下降	無	多	無

#### ■茎関連形質

	莖莖の形態	茎色		茎長	茎径	亀裂	ろう物質	芽子の形	芽翼	芽子突出度	芽溝
		基本色	複合色								
Ni13	円筒	黄緑	褐	長	中太	無	多	卵円	中	やや凸	無
NCo310	円筒	黄緑	褐	中	中細	小	中	円	やや広	やや凸	無
F177	糸巻	黄緑	褐紫	長	中太	小	多	円	中	やや水平	無



- 他品種と比べてやや葉が広く、立葉です。
- 多品種と比べて梢頭部が大きい。
- 芽子はやや小さい。